

9/9 (土)	PGM 1. がんのピアサポートを知る		
	概要	がんのピアサポートの基本的知識を得ると共に、円滑な学びのために必要なきまりを確認し、自己紹介を兼ねた語り合いを通して、受講者間のコミュニケーションをはかる。	
	テーマ	時間	ねらい
1)	開講オリエンテーション	60	
	(1)NPO 活動について		NPO(特定非営利活動法人)の目的と役割について学び、その必要性と意義を知る
	(2)ミーネットの「がんのピアサポート活動」について		その生い立ちと、ピアサポーター養成の経緯、地域に根ざしたピアサポート活動の経緯を知る
	(3)受講の決まりと講座の流れについて		円滑に講座を進めていくための決まりを理解し、講座の全体像を確認する
2)	グループワークの進め方	90	
	(1)グループワークとは		講義の内容を咀嚼して十分な理解につなげるための、グループワークの方法やルールを学ぶ
	(2)ファシリテーションについて		グループワークが円滑に進み、目標が達成できるように支援するファシリテーションの基本を学ぶ
	(3)グループワーク「受講動機を語りあう」		受講者間のコミュニケーションを促進し、互いを理解し合うための機会とする
3)	がんのピアサポートを知る	60	
	(1)がんのピアサポートとは何か		ピアサポートの理念、目的と意義について、実践事例を交えながら具体的な理解につなげる
	(2)あるサバイバーがピアサポーターになるまで		一人の患者がピアサポーターを志し現在に至ったプロセスを紹介し、ピアサポート活動を具体的に知る
4)	ピアサポート(相談支援)の基本ときまり	90	
	(1)ピアサポーターの心得と対応		安心と信頼のピアサポートを実現するために必要なルールと対応の基本を学ぶ
	(2)相談者への「寄り添い」とは何か		ピアサポートの実践事例を紹介し、相談者に「寄り添う」ことの大切さを学ぶ
	(3) グループワーク 「心得」と「寄り添い」について話し合おう		「心得」「寄り添い」についての学びを咀嚼して、より理解を深めるためにグループで話し合う

9/10 (日)	PGM 2. ピアサポーターの基本姿勢をつくる		
	概要	まず、がんサバイバーとしての自身の想いを整理し、ピアサポーターとしての基本姿勢を身に付け、相談者に安心と信頼を得られるピアサポーターをめざすためのスタートとする。	
1)	自分らしく支えるセルフマネジメント	90	
	(1)セルフマネジメント理論と意思決定		がん医療の現状と展望をまじえ、よりよい意思決定のためのセルフマネジメントを学び、ピアサポートに活かす
	(2)体験に学ぶ「自分らしく生きていくということ」		自分らしく生きるということを大切にしながら、様々な困難を乗り越えてきたサバイバーの体験に学ぶ
	(3)セルフマネジメント・シート作成		ワークシート（がんを知りがんとともに生きていくこと）の作成により具体的なアクションプランをつくる
2)	ピアサポート活動と緩和ケア	90	
	(1)緩和ケアとは何か		「緩和ケア」を正しく理解し、ピアサポート活動もまた緩和ケアの一つであることを理解する
	(2)がん患者の多層的な苦悩(痛み)について		がん患者を取り巻く状況と、がんになったことにより生じる悩みについて知り、支援のあり方を考える

	(3)がんサバイバーシップとは		様々な解釈のある「がんサバイバーシップ」について考え、受講者間の共通理解につなげる
	(4)緩和ケアとしてのピアサポート（事例を中心に）		がんの悩みの緩和や軽減につながった相談事例について解説し、具体的な理解につなげる
	(5)グループワーク		(4)の事例についてグループで話し合い、グループ毎に発表して全体で共有する
3)	「その人らしく」を支える死生観について	90	
	(1)死生観を持つということ		命に関わる病でもある「がん」を抱えた人々の思いを受け止めるピアサポーターとして、自身の死生観を見つめ直し、意思決定支援のあり方を考える
	(2)グループワーク		講義の内容や死生観についてグループで話し合い、グループ毎に発表して全体で共有する
4)	講座 1. 2.の振り返りワーク	30	

10/14 (土)		PGM 3. 対面の相談支援における基本的コミュニケーション技法を身につける	
概要		ありのままの自分を知り、他者との接し方を分析して、自分自身のコミュニケーションの傾向を明確化した上で、ピアサポートの基本的なコミュニケーション技法を学ぶ。	
1)	「コミュニケーション」の課題を明確化する	120	
	(1)交流分析		交流分析により、自己のコミュニケーションの傾向について分析し、コミュニケーション上の課題を明確にする
2)	ピアサポートの基本的コミュニケーション技法	120	
	(1)積極傾聴の基本		ピアサポートにおける相手の話を「聴く」ことの重要性を理解し、傾聴の基本的な手法を学ぶ
	(2)傾聴のロールプレイ		受講者が聴き手と話し手になり、傾聴の実際を体験し、互いに評価し合う
	(3)応酬話法の基本(Yes,But 法、Yes,And 法)		面談を円滑に進めるために、相手の話をまず十分に受け止めてから自分の意見を述べる応酬話法を学ぶ
	(4)応酬話法・事例検討とロールプレイ		実際事例をもとに、二人一組となって、応酬話法を実践し評価し合う
3)	スキルアップのためのセルフマネジメント	60	
	(1)ピアサポーターの日頃の備え		ピアサポーターとしてスキルアップをはかるための、心構えと方法について学ぶ
	(2)インターネットによる情報収集の留意点		氾濫するネット情報から、正確で信頼できる情報収集をするための留意点について学ぶ

10/28 (土)		PGM 4. 知っておきたい「がん医療の基礎知識」と「相談支援機関」について	
概要		ピアサポーターとして身に付けておきたい、「がん医療」についての基礎知識ならびに、がん医療を支える専門職種それぞれの役割について理解する。	
1)	病院の機能と医療の仕組みについて	60	
	(1)がん診療連携拠点病院とは		がん診療連携拠点病院とは何か。その役割や指定要件などについて知ると共に、医療機能や医療の仕組みについて学ぶ
	(2)がん医療の仕組みについて		
2)	チーム医療を知る	30	
	(1)がん医療を支える専門職の役割		「チーム医療」を理解し、それぞれの専門職の役割について知る。
	(2)チーム医療の必要性について		
3)	がんの「相談支援機関」を知る	30	

	(1)「相談支援センターの役割」		ピアサポーターとしての役割を果たした上で、必要であれば専門機関に橋渡しすることが求められる。その「つなぎ機能」に必要な基本的な知識を得る。
	(2)地域の相談支援機関を知る		
4)	知っておきたい「自分のがんのこと」	60	
	(1)確定診断時に把握しておくべきポイント		主治医とのよりよいコミュニケーションをはかり、最良の医療を受けるためには、自身のがんについて十分に理解しておく必要があり、そのためのポイントを、ピアサポーターとして把握しておく
	(2)治療選択のリスクとベネフィットについて		
	(3)患者が受けられる支援について		
5)	がんの化学療法について知る	60	
	(1)化学療法の現状と展望		目覚ましい進歩を遂げる化学療法の現状について理解し、化学療法について正しい知識を得ると共に、副作用や後遺症についても学び、ピアサポートに活かす
	(2)化学療法の副作用や後遺症について		
	(3)がんの臨床試験について		
6)	総合ディスカッション	60	

11/11 (土) PGM 5. がん種別 がんの基礎知識とピアサポート ①大腸がん ②胃がん			
11/11 (土)	概要	がん種の基本的な知識と各がん種の患者が抱えやすい悩みを知り、相談事例に基づいてピアサポーターとしての対応方法を考え、ロールプレイを行って実践的なピアサポート(相談支援)のスキルを身につける。 なお、血液がん、膵臓がん、腎がん、希少がん等は2年目のフォローアップ研修で実施する。	
1)	大腸がんの基礎知識とピアサポート	150	
	(1)大腸がんの標準治療と患者が抱える悩み		大腸がんの基礎知識を学び、患者の抱えやすい悩みと対処法について考え、ピアサポートに活かす
	(2)大腸がんの体験に学ぶ(体験者発表)		大腸がん体験者の治療経緯や治療後の悩みなどの発表に学ぶ
	(3)大腸がんのピアサポート事例検討		実際の相談事例に編集を加えた資料をもとに、ピアサポーターとしての対応をグループワークで考える
	(4)大腸がんのピアサポート演習(ロールプレイ) ●ロールプレイの相談記録を作成		相談事例に基づくロールプレイを行い、メンバーの評価スーパーバイザーの講評を受け、実践力を身につける。
2)	胃がんの基礎知識とピアサポート	150	
	(1)胃がんの標準治療と患者が抱える悩み		胃がんの基礎知識を学び、患者の抱えやすい悩みと対処法について考え、ピアサポートに活かす
	(2)胃がんの体験に学ぶ(体験者発表)		胃がん体験者の治療経緯や治療後の悩みなどの発表に学ぶ
	(3)胃がんのピアサポート事例検討		実際の相談事例に編集を加えた資料をもとに、ピアサポーターとしての対応をグループワークで考える
	(4)胃がんのピアサポート演習(ロールプレイ)		相談事例に基づくロールプレイを行い、メンバーの評価スーパーバイザーの講評を受け、実践力を身につける。

12/9 (土) PGM 6. がん種別 がんの基礎知識とピアサポート ③前立腺がん ④乳がん			
1)	前立腺がんの基礎知識とピアサポート	150	
	(1)前立腺がんの標準治療と患者が抱える悩み		前立腺がんの基礎知識を学び、患者の抱えやすい悩みと対処法について考え、ピアサポートに活かす
	(2)前立腺がんのピアサポート事例検討		実際の相談事例に編集を加えた資料をもとに、ピアサポーターとしての対応をグループワークで考える
	(3)前立腺がんのピアサポート演習(ロールプレイ)		相談事例に基づくロールプレイを行い、メンバーの評価スーパーバイザーの講評を受け、実践力を身につける。

2)	乳がんの基礎知識とピアサポート	150	
	(1)乳がんの標準治療と患者が抱える悩み		乳がんの基礎知識を学び、患者の抱えやすい悩みと対処法について考え、ピアサポートに活かす
	(2)乳がんの体験に学ぶ（体験者発表）		乳がん体験者の治療経緯や治療後の悩みなどの発表に学ぶ
	(3)乳がんのピアサポート事例検討		実際の相談事例に編集を加えた資料をもとに、ピアサポーターとしての対応をグループワークで考える
	(4)乳がんのピアサポート演習(ロールプレイ)		相談事例に基づくロールプレイを行い、メンバーの評価スーパーバイザーの講評を受け、実践力を身につける。

1/13 (土) PGM 7. がん種別 がんの基礎知識とピアサポート ⑤肺がん ⑥婦人科がん			
1)	肺がんの基礎知識とピアサポート	150	
	(1)肺がんの標準治療と患者が抱える悩み		肺がんの基礎知識を学び、患者の抱えやすい悩みと対処法について考え、ピアサポートに活かす
	(2)肺がんの体験に学ぶ（体験者発表）		肺がん体験者の治療経緯や治療後の悩みなどの発表に学ぶ
	(3)肺がんのピアサポート事例検討		実際の相談事例に編集を加えた資料をもとに、ピアサポーターとしての対応をグループワークで考える
	(4)肺がんのピアサポート演習(ロールプレイ)		相談事例に基づくロールプレイを行い、メンバーの評価スーパーバイザーの講評を受け、実践力を身につける。
2)	婦人科がん(卵巣・子宮)の基礎知識とピアサポート	150	
	(1)婦人科がんの標準治療と患者が抱える悩み		婦人科がんの基礎知識を学び、患者の抱えやすい悩みと対処法について考え、ピアサポートに活かす
	(2)婦人科がんの体験に学ぶ（体験者発表）		婦人科がん体験者の治療経緯や治療後の悩みなどの発表に学ぶ
	(3)婦人科がんのピアサポート事例検討		実際の相談事例に編集を加えた資料をもとに、ピアサポーターとしての対応をグループワークで考える
	(4)婦人科がんのピアサポート演習(ロールプレイ)		相談事例に基づくロールプレイを行い、メンバーの評価スーパーバイザーの講評を受け、実践力を身につける。

1/27 (土) PGM 8. 相談記録を作成する			
	概要	自身の対応を振り返り、課題を明確化し、スキルアップにつなげるための相談記録の作成について学ぶ	
1)	ピアサポート相談事例検討	60	相談記録を作成することの必要性や重要性を学び、相談事例への対応を検討したのちロールプレイを実施し、実際に相談記録作成して、自身の対応を振り返り、問題点や課題を抽出する。
2)	相談記録の作成と記録による問題・課題の抽出	90	
3)	事例に基づくロールプレイ	120	
4)	相談記録 作成実習	30	

2/3 (土) PGM 9. 総合演習①			
	概要	ピアサポーターの基本対応と話を再確認し、実際のピアサポート活動に向けて演習を重ねる。	
1)	基本対応と話法の再確認	60	ピアサポーターとしての基本的コミュニケーション技法を再確認し、相談事例についての対応をグループで討議し、ロールプレイを実施。ビデオ撮影による振り返りを通して、問題点の改善や課題の確認につなげる
2)	相談事例検討	90	
3)	ビデオ撮影を活用した総合演習	120	

4)	振り返りのワーク(ビデオ確認・評価・講評)	30	
----	-----------------------	----	--

2/24 (土) PGM 10. 総合演習②			
概要		ピアサポーターの基本対応と話法を再確認し、実際のピアサポート活動に向けて演習を重ねる。	
1)	基本対応と話法の再確認	60	ピアサポーターとしての基本的コミュニケーション技法を再確認し、事例についての対応をグループで討議し、ロールプレイを実施。ビデオ撮影による振り返りを通して、問題点の改善や課題の確認につなげる
2)	相談事例検討	90	
3)	ビデオ撮影を活用した総合演習	120	
4)	振り返りのワーク(ビデオ確認・評価・講評)	30	

3/10 (土) PGM 11. がん種別・患者会(グループ・ピアサポート)におけるピアサポーターの役割			
概要		がんのグループ・ピアサポート、実際のピアサポート活動に向けて演習を重ねる。	
1)	グループ・ピアサポート(GPS)の目的と意義	30	がん種別、テーマ別の患者会をファシリテートし、意見交換を促進して参加者の満足度を向上させ、終了後は個別に相談支援を行う「グループ・ピアサポート」について学び、模擬的なグループサポートを通して、その実際を知る。
2)	GPS のファシリテーション	30	
3)	GPS の記録と情報共有について	30	
4)	名古屋市がん相談・情報サロンの GPS の実際	30	
5)	模擬 GPS	60	ピアサポート活動に向けた総合的な学びを修了にあたり、今後どのように活動していくかを明確化するための個人プランニングを策定する。
6)	模擬 GPS 発表とディスカッション	60	
7)	ピアサポート活動・個人プランニングの作成	60	

3/31 (土) PGM 12. がん診療連携拠点病院 院内実習オリエンテーション			
概要		病院でのピアサポート実習のきまりや流れを知り、スーパーバイザー・ピアトレーナーに面談での指導を受ける。	
1)	院内ピアサポート実習の決まりについて	30	ピアサポート導入医療機関との関係性や活動のきまりなどについて理解し、実習の円滑化をはかる
2)	院内ピアサポート実習の流れを知る	60	実習の進め方や院内ピアサポートの実際的な流れを知ることで具体的なイメージ化につなげる
3)	スーパービジョンを受ける(面談指導)	90	院内実習にあたって、今の自分の思いや対応上の不安や疑問についてスーパーバイズを得る
4)	基礎講座 修了懇談会	120	1年間、共に学びあった仲間と新しいステップに向けて懇談し、精神的な相互支援につなげる

●ピアサポート院内実習／ピアサポート実践 ※講座終了後 4月～7月

1)	認定ピアサポーターとのペア相談支援／個人プランニングの提出後、3～5回
2)	振り返りシート提出＝毎回／実践時は実際に相談記録票にも記入
3)	スーパービジョン（スーパーバイザーやピアトレーナーの指導）

●ピアサポーター養成講座・修了試験（通信） 8月を予定 ※期限:約3週間

●修了式 8～9月を予定

※日程・プログラムは予告なく変更する場合があります。